

保育計画成果報告書

法人名	社会福祉法人 わらべ福祉会
施設名	きらきらこども園
報告者(役職)	普久原 清華 (主幹)
住所・連絡先	沖縄県沖縄市大里 2-6-16 TEL 098-938-1633

○タイトル(保育計画)

キラキラわくわくする気持ちをみんなで表現
～日常保育の中から発表会へ～

○主な助成備品

電子ピアノ・和太鼓セット・ピアノカ・ハンドベル・カスタネット・すず・パーランクー・ビブラフォン

1. 保育計画策定の目的

当園は子ども達がホッとできるような環境で楽しく過ごせるよう、一人ひとりの個性を大切に、子ども達が「楽しい」「嬉しい」といった感情体験で満たされるような、心と心のスキンシップを大切にする保育をしています。

見るもの触れるもの、色んなことに興味を持つ子ども達が、日常保育の中で自ら楽器を手に取り、音を聞きリズムに合わせての表現や、個人演奏から全体で合わせていく合奏を成長に併せて挑戦することで、チャレンジする気持ち、できなかったことができるようになる喜びを子ども達と一緒にわかち合い、みんなと一緒に大好きな家族の前で発表することで緊張感や達成感を得て、自己肯定感を育むことを目指して保育計画を策定しました。

2. 具体的な実施内容

年齢に応じて楽器への興味が深まるよう、各コーナーに楽器を準備し、いつでも楽器に触れられる環境作りをしました。

各年齢に応じて興味の引き方や夢中になる遊び込みは様々で、玩具の中に楽器があることで奏でる楽しさを自然に取り入れることができました。

【0歳児 音に興味を持つ】

遊びの中で音楽・音に興味を示し、実際に手に取り体験することで、多くの音の発見や音色に夢中になり、もっと遊びたい気持ちを育むことができました。

保育参加時には朝の会でのリズム遊びを保護者と一緒に行い、楽器への距離が一層近くなったように感じました。



【1歳児 音からつながる表現遊び】

毎週行っているリトミックの中で体を使った表現遊びを通して、音と運動のつながりを楽しんでいたり、太鼓や鈴など手に取りやすい楽器を環境に取り入れることで夢中に遊ぶ姿が見られました。

楽器遊びを通して、実際触れることで、力の加減がまだ難しい月齢の子ども達にも、体験しやすい活動となりました。



【2歳児 リズム遊びからの広がり】

自由に楽器に触れられるコーナーを作り、ハンドベル・カスタネット・シンセなど様々な楽器に触れることで、奏でる音の楽しさや小さな合奏を体験し、楽器遊びが身近な遊びへと変化していきました。



【3歳児】

ピアノ・鉄琴・ハンドベルと音の響きを楽しむことから一緒に合奏することへの挑戦が自然と始まり、「カエルの歌」や「おもちゃのチャチャチャ」など簡単なメロディーに合わせて演奏することを喜んでいました。

演奏することでドレミなど音階を知るきっかけにもなり、保育教諭の弾く音に興味を持つ子が多く見られました。また、運動会では沖縄の伝統でもあるエイサーを取り入れたことで太鼓の種類にも自然と気づくことができました。

3歳児は運動会にて披露する場を設けたことで張り切って踊る姿見られました。



【4歳児】

楽器がコーナーにあることで触れる時間が自然と多くなり、子ども達同士で「今日は「きらきらぼし」弾いてみる？」など簡単な演奏を積極的に練習する姿が見られ始めていました。

また、4歳児は和太鼓に一番興味を惹かれた様子で、曲に合わせてたたく太鼓の音に目を輝かせて振り付けを入れながら発表会で披露したいという気持ちが生まれていました。



【5歳児】

音程やリズムに気をつけて演奏する表現力を養い、発表会を目標に、パートごとの音の変化を楽しみながら合奏での表現が形になっていきました。発表会で演奏することで緊張感や達成感を友達と一緒に分かちあう姿が見られました。



3. その成果と評価

普段の活動から音に親しむ経験をしていた子ども達が、好きな楽器を見つけ、触れ、奏でてみることで、これまでには感じられなかった音から引き寄せられる活動に、楽器を身近に導入することができてとてもよかったです。

言葉では言い表せない表現も、楽器を使うと自然に音を感じることができ、笑顔が多くなり、最終的には発表会という大きな場で披露することができ、想像を超える結果につながったように感じます。



4. 今後の課題と展望

楽器がつなげてくれた活動が日々子ども達の楽しみに変わり、友達と一緒に演奏することや人前で演奏したい！という気持ちへの変化を育むことができました。

低年齢からの活動導入は自然と耳に音が入ることで体を揺らしたり、実際に触れ、音を奏でてみることで、他の玩具では感じる事のない心地よさが子ども達にも伝わったように感じます。

今後も、楽器の取り入れ方を模索しながらも楽器から広がる活動の発展を、保育教諭と子ども達とで広げていけたらと考えています。

活動充実にお力添えいただきありがとうございました。

以上